

都議会通信 vol.4

都民ファーストの会 東京都議団
東京都議会議員(国分寺市・国立市選出)

岡本 こうき

- ・都議会でのこれまでの所属委員会：議会運営委員会、厚生委員会(現)、総務委員会、予算特別委員会、各会計決算特別委員会、情報公開推進委員会(現)
- ・弁護士(東京大学法学部卒業)



皆様のご意見をお聞かせください。

発行元：都民ファーストの会 東京都議団 岡本こうき 〒185-0011 国分寺市本多1-5-4 宝ビル302
tel 042-312-4180 fax 050-3737-8161 e-mail info@okamoto-koki.tokyo

必要な人に必要な情報を 東京都「新型コロナウイルス感染症支援情報ナビ」開設!

<https://covid19.supportnavi.metro.tokyo.lg.jp/>

新型コロナウイルス感染症の影響でお困りの企業や都民のみなさんが利用できる、東京都および国の支援情報を探ることができるサイトです。(国の支援情報は順次追加予定です)

業種 企業向け、個人事業主向け、個人向け、各業種向け

事業者向け 資金繰り(もらう or かりる)、施設の維持・運営、雇用・従業員に関すること、テレワーク、輸出入、税・年金・保険、生活インフラ、公的施設の使用、相談、行政からのお知らせ

個人向け 妊娠・出産・子育て、教育、生活資金、雇用や労働環境、外国人、相談・手続きの延長などから選択して検索できます。



これまでのコロナ対策緊急補正予算等

感染症への対応力を高め、都民の命を守り、東京の経済を支える

都はこれまで、感染拡大を阻止する対策、セーフティネットの強化・充実、感染症防止と経済社会活動との両立、社会構造の変革など、累次にわたる補正予算等を編成し、総額2兆円規模の新型コロナウイルス感染症対策を講じてきました。

岡本こうきは、医療・保健分野を所管する厚生委員会において、新型コロナウイルス感染症への対応について、数々の政策提言や質疑を行って参りました(2020年3月2日、18日、6月5日、7月20日、10月2日、12月11日、2021年2月16日、3月1日)。**福祉保健局答弁(7月20日):全力で感染症対策を進める。答弁(10月2日):対策のさらなる強化を図る。**

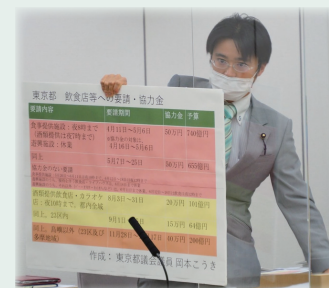
弁護士の強みを活かして、条例や法律の改正議論も牽引しました(9月9日記者会見)。

また、総務委員会では、知事が都民や事業者に発した外出自粛要請や休業時短要請について質疑し、経済と医療崩壊回避の両立の議論を深めました(2020年11月27日)。**総務局答弁:会食時の注意として、こまめにマスク着用など呼び掛ける。**

決算特別委員会では、教育庁に昨年3月の一斉休校の妥当性や弊害について質疑しました(2020年10月26日)。**教育庁答弁:将来有益な記録として活用したい。**

より詳しくは、Facebook 岡本こうき(国分寺・国立) ページで発信中です。

<https://www.facebook.com/okamoto.koki.tomin1st>



2020年11月27日
総務委員会質疑

令和2年度補正予算等における新型コロナウイルス感染症への緊急対策

対策の柱	補正予算額等	主な事項
1 新型コロナウイルスの感染拡大を阻止する対策	1兆1,744億円	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止協力金 (営業時間短縮に係る協力金を含む) 5,834億円 ・患者受入に向けた空床確保料の補助 1,955億円 ・医療従事者等への慰労金の支給 953億円 ・介護、障害、児童福祉施設等における感染症対策への支援 415億円 ・宿泊施設活用事業 371億円
2 経済活動と都民生活を支えるセーフティネットの強化・充実	9,897億円	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業制度融資等 7,165億円 ・生活福祉資金貸付事業補助 1,965億円 ・「東京都家賃等支援給付金」の支給 440億円 ・中小企業従業員融資 62億円
3 感染症防止と経済社会活動との両立等を図る取組	199億円	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式に対応したビジネス展開支援 117億円 ・区市町村立学校における新型コロナウイルス感染症対策支援事業の拡充 28億円
4 社会構造の変革を促し、直面する危機を乗り越える取組	546億円	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策に係るテレワーク活用促進緊急支援 447億円
総額	2兆2,387億円	

* 補正予算額等は、令和3年2月5日までの補正予算額及び令和2年度最終補正予算額の総額であり、予備費を含みます。

都議会報告:賛否が割れた主な議案等

【略称説明】 都民ファースト:都民ファーストの会 東京都議団、公明:都議会公明党、自民:東京都議会自由民主党、共産:日本共産党東京都議会議員団、民主:都議会民進党または都議会立憲民主党・民主クラブ、生ネ:都議会生活者ネットワーク「その他」には、日本維新の会 東京都議席、新風自民党、かがやけ Tokyo、自由を守る会、無所属 東京みらいが含まれる。

	議案等	会派名・議員数・賛否 (○:賛成 ×:反対 退:退席し採決に加わらず)								賛成:反対 可否
		都民ファースト	公明	自民	共産	民主	生ネ	その他		
平成29年	第2回臨時会 (2017.9.5)	中央卸売市場会計 補正予算 (豊洲市場追加対策工事等)	55 ○	23 ○	22 ○	19 ×	5 ○	1 ×	1 1 ○ ×	106対21 可決
	第3回定例会 (2017.10.5)	東京都子どもを受動喫煙から守る条例 (議員提案)	55 ○	23 ○	22 ×	19 ○	5 ○	1 ○	2 ○	105対22 可決
平成30年	第1回定例会 (2018.3.29)	平成30年度予算一般会計	53 ○	23 ○	23 ×	18 ×	5 ○	1 ○	1 2 ○ ×	83対43 可決
	第2回定例会 (2018.6.27)	東京都受動喫煙防止条例	53 ○	23 ○	23 ×	18 ○	5 ○	1 ○	3 ○	103対23 可決
	第3回定例会 (2018.10.5)	東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例	53 ○	23 ○	23 ×	18 ○	5 ○	1 ○	1 2 ○ 退	101対23 可決
		東京都工業用水道条例を廃止する等の条例	53 ○	23 ○	23 ×	18 ○	5 ○	1 ○	3 ○	103対23 可決
平成31年	第1回定例会 (2019.3.28)	平成31年度予算一般会計	50 ○	23 ○	23 ×	18 ×	5 ○	1 ○	3 3 ○ ×	82対44 可決
令和元年	第2回定例会 (2019.6.19)	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書の提出に関する請願	50 ○	23 ○	23 ×	18 ○	5 ○	1 ○	4 ○	101対23 可決
	第3回定例会 (2020.10.8)	東京2020大会の開催と成功に関する決議	50 ○	23 ○	26 ○	18 ×	5 ○	1 ×	3 1 ○ ×	107対20 可決
令和2年	第4回定例会 (2020.12.16)	新型コロナウイルス感染症対策条例に罰則を求める陳情	50 ○	23 ×	26 ×	18 ×	5 ×	1 ×	4 ×	50対77 否決

都民ファーストの会東京都議団は、責任ある都議会第一会派として、都政を着実に進めて参ります。

これらは決議後も引き続き都政の課題であり、議論が続いています。ご意見をお聞かせください。豊洲市場移転後の赤字会計や使用料、受動喫煙防止条例全面施行後の違反・潜脱(※)や屋外迷惑喫煙・隣家喫煙の問題、人権尊重条例後のLGBT差別解消への具体策(パートナーシップ制度導入の是非)、ヘイトスピーチ解消に向けた罰則の要否、工業用水道廃止後の利用者への激変緩和策、新型コロナ対策の罰則(2月法律改正により導入)の適用是非、都の各種予算など。また、夫婦別姓や2020大会は、今後一層議論が高まると思われます。(※シガーバーではない居酒屋が法令要件をみださず喫煙目的施設ステッカーを貼っている問題を下記一般質問で指摘)

2020年9月30日、岡本こうきは、都議会本会議一般質問に登壇し、以下の質疑・提言を行い、議論を深めました。

- ✳️ **新型コロナ関連** ・保健所の体制強化 知事答弁:職員派遣、健康観察アプリ導入した。疫学調査トレーサー班増員、DX推進する。
 - ・「東京都新型コロナウイルス感染症対策条例」の「不当な差別的取扱い」の禁止 総務局長答弁:相談を実施。知事の啓発動画。
 - ・国の持続化給付金、都の休業要請や時間短縮要請の協力金の不正受給について
- ✳️ **地域テーマ** ・JR西国分寺駅南側、泉町の都有地について、国分寺市の市役所移転の新庁舎建設用地として市に売却する方針を推進 財務局長答弁:しっかり進める。
 - ・国立市の非認知能力を伸ばす幼児教育推進プロジェクト「ここすき!」と都の連携
- ✳️ **以前からのテーマ** ・ヘイトスピーチ対策、災害時のデマや差別への対策
 - ・受動喫煙防止条例の全面施行について、認知度の高さ、都民からの高い評価
 - ・洗剤や柔軟剤等の「香料」「香害」問題について、福祉保健局と病院経営本部に対策を要望 答弁:一層の普及啓発に取り組む。
 - ・児童養護施設の退所者や自立支援コーディネーターが弁護士に相談し易い仕組みづくり 福祉保健局長答弁:実態調査しニーズ把握する。



都議会本会議一般質問に登壇、小池都知事へ質問



知事施政方針と令和3年度予算案 2つの危機 新型コロナと気候危機を乗り越える



コロナ禍からただ元に戻るのではなく、持続可能な回復を実現する「サステナブル・リカバリー」進化へ 傷ついた経済を再び成長軌道に乗せ、さらなる飛躍へと導いていく。

SDGsの理念を当時から体現した渋沢栄一の姿勢を心に刻み、果敢に行動していく。



渋沢栄一(1840-1931) (写真:国立国会図書館)

東京版ニューディール~TVA作戦~ 2万人を超える雇用を創出

東京しごとセンターや都立職業能力開発センター等を通じて職業スキル向上、IT業界・プログラミングスクール等と連携、IT・医療・介護分野の職業訓練。コロナ禍で困難に直面している方々に寄り添った緊急雇用対策を軸として、雇用と経済の早期回復に重点的に取り組む。

2030年までに「カーボンハーフ」 都内温室効果ガス排出量を50%削減(2000年比)

2030年都内乗用車新車販売の非ガソリン化率100%を目指す。

来年度、ZEVをいっしょに拡大すべく、補助の拡充等により、導入負担をガソリン車を下回る水準まで低減する。



小池百合子都知事 令和3年2月17日施政方針表明

一般会計 7兆5651億円 (2月18日補正予算含む)

詳細は以下URL、右QRコードからご覧いただけます。
<https://www.zaimu.metro.tokyo.lg.jp/zaisei/yosan/r3.html>



歳出中、岡本こうきが特に注目する事業

- 医療・保健
 - ・PCR検査等 73億円
 - ・新型コロナ専用医療施設 11億円
 - ・保健所の体制強化 13億円
 - ・これらを含め新型コロナウイルスの感染拡大を阻止する対策 1255億円
 - ・ワクチン接種体制の整備 13億円
 - ・民間医療機関の患者受入等の確保 733億円
 - ・ホテル宿泊療養、自宅療養 211億円
 - 暮らし・仕事
 - ・東京都出産応援事業~コロナに負けない! 子ども一人当たり10万円支給 126億円
 - ・インクルーシブ公園ユニバーサルデザイン遊具 1公園あたり3000万円
 - ・里親子のサポートネット
 - ・テレワーク、サテライトオフィス
 - ・高齢者の社会参加促進(オンラインのフレイル予防含む) 326億円
 - ・こころと命を守るための支援・相談体制の強化(自殺相談ダイヤル含む) 7億円
 - ・女性の活躍推進 45億円
 - ・ソーシャルファーム(就労困難者の雇用拡大)
 - 教育
 - ・教育のデジタル化推進 132億円
 - ・多摩地域における体験型英語学習施設(TOKYO GLOBAL GATEWAY同様)
 - 安全・安心
 - ・豪雨災害対策等 1699億円
 - ・無電柱化の推進 340億円
 - ・避難所における感染症対策物資購入支援
 - 経済
 - ・国際金融都市の実現など 24億円
 - ・起業、創業の促進 101億円
 - ・商店街の活性化支援 53億円
 - ・農林水産業の振興 51億円
 - ・「アートにエールを!」関連 9億円
 - ・行政のデジタルシフト 79億円
 - 環境
 - ・ゼロエミッションビークル(ZEV)の普及促進 116億円
 - ・プラスチック対策 19億円
- 歳入
- ・税収 5兆450億円(前年度対比約4000億円減少)
 - ・都債 5876億円(前年度対比3792億円増)
 - ・グリーンボンド400億円、ソーシャルボンド600億円